

梅原の子

Umehara Elementary School
梅原小学校 学校だより
令和7年2月25日号

豊かな体験を、すてきな経験として心に残す、発表会

校長 埴岡 靖司

梅原小学校の赴任が決まった時に、まず考えたことが、「保護者を含む地域の方への発表会ができる」ということでした。そのわけは、ただひとつ。子どもが、地域の方との体験を通して学んでいる学校だと知っていたからです。

さまざまな体験は、活動したことで終わるのでは、今ひとつ喜びが少ない。体験を通してわかったことや考えたこと、感じたことを、学習の場面で活用できる経験に高める方法は、自分の言葉で誰かに伝えることです。学習の場面という、報告や記録、説明、話し合い、絵画や劇での表現等の学習活動のことです。これらは、日々の学校の中で当たり前に行っている学習です。

そのような中で、梅原地域で行う発表会は、特別だと感じています。それは、会場で聞いてくださる方が、子どものがんばる姿やもじもじする姿、堂々とした気持ちや不安な気持ち等をすべてすてきな姿として受け入れてくださるからです。すべてを受け入れてもらえる安心感こそが、学校が地域の中にある大切な意味だと思います。

先日の学習発表会では、実に様々な面からの発表がありました。そして何より、堂々と話す子どもの姿がすてきでした。これは、学習したことを誰かに伝えたいという熱い思いと、地域の方にすてきな姿だと受け入れてもらえたという安心感があつたからだと思います。

いろいろな見方や考え方が広がる多様性の令和だからこそ、これからも、自分の言葉で語る「発表会」を大切にしていこうと考えています。



△地域の方で満席の中での学習発表の様子

☆☆

令和7年度の梅原小学校について(学校運営協議会での報告内容)

令和7年度は、1年学級、2・3年学級、4・5年学級、6年学級の4学級でスタートします。児童数は、41名の予定です。今年度は、複式学級の設置が初めてでしたので、戸惑うこともありました。来年度は、今年度の運営を生かして取り組んでいきたいと考えています。

来年度は、学年を越えて学ぶ機会を増やしていきます。異学年の集団での学習を通して、試行錯誤しながら学び続けることができることをめざします。そこで、総合的な学習の時間については、2学年での編制で行います。これまでのように、体験活動では地域の方にお世話になり、体験を通して感じたことや考えたことを、じっくり深めていきます。また、全校で取り組む学習として、STEAM教育*を通しての教科横断的な学びを進めていきます。この取り組みについて、日産教育財団の理科教育助成を受けて進めます。

来年度も、保護者のみなさん、地域の方のみなさんの理解と協力のもと、未来を支える子どもの育成に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

*STEAM教育とは、さまざまな学問領域をもとにしつつ、特に理数系の学びを中心に多様な知識を活用しながらそれを統合して、社会の問題を発見・解決していこうとする学びのことです。